

令和7年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) **国補** 県単

事業名	林道事業〔森林居住環境整備事業（国補）〕		事業箇所	都留市大野～都留市鹿留	地区名	林道細野鹿留線	事業主体	山梨県
計画期間	当初計画	現計画	変更計画	④特記事項（関連事業概要等） なし				
	H8～H30	H8～R7	H8～R11					
総事業費	6,685 百万円	6,350 百万円	7,185 百万円					

(1) 事業の概要

①事業目的及び効果

本路線は、都留市の大野地区と鹿留地区を結ぶ森林基幹道であり、都留市南東部の御正体山北面一帯の県有林を中心とした広大な森林の管理経営を目的としている。利用区域1,869haのうちスギ、ヒノキ等の人工林は約65%を占めていることから、本路線は、木材生産をはじめ、その後の再造林などの森林整備の基盤となるもので、適正な森林施業の実施により、県土の保全や水源涵養等、森林のもつ公益的機能の維持増進も図られる。

また、県道都留道志線と県道大野夏狩線を連絡することにより、災害時の避難路・迂回路としての活用も期待されるほか、鹿留川沿いの森林レクリエーション利用のアクセス路としても寄与する。

□主要目標 ○森林整備の効率化

- ・利用区域内の人工林における伐採対象人工林の割合 $34.6\% \leq 36.5\% ※$
- ・利用区域内の人工林率 $64.6\% \leq 69.9\% ※$
- ・徒歩で30分以内に到達できる範囲内森林の人工林率 $15.3\% \leq 70.0\% ※$
(※評価基準値)

□副次目標 ○なし

□副次効果 ○アクセス機能の維持

○防火帯・延焼遮断帯の確保

②事業概要

森林基幹道 計画延長 19,973m 幅員 5.0m
(うち新設16,073m、改築3,900m)

利用区域面積 1,869ha 森林資源蓄積量 238,019m³

③全体計画

		令和6年度まで	令和7年度 (評価実施年度)	令和8年度以降
現計画	工事内容	林道開設等 L=19,453m	林道改築 L=520m	
	事業費	6,310 百万円	40 百万円	
変更計画	工事内容	林道開設等 L=17,252m	林道開設等 L=400m	林道開設等 L=3,077m
	事業費	6,182 百万円	202 百万円	801 百万円

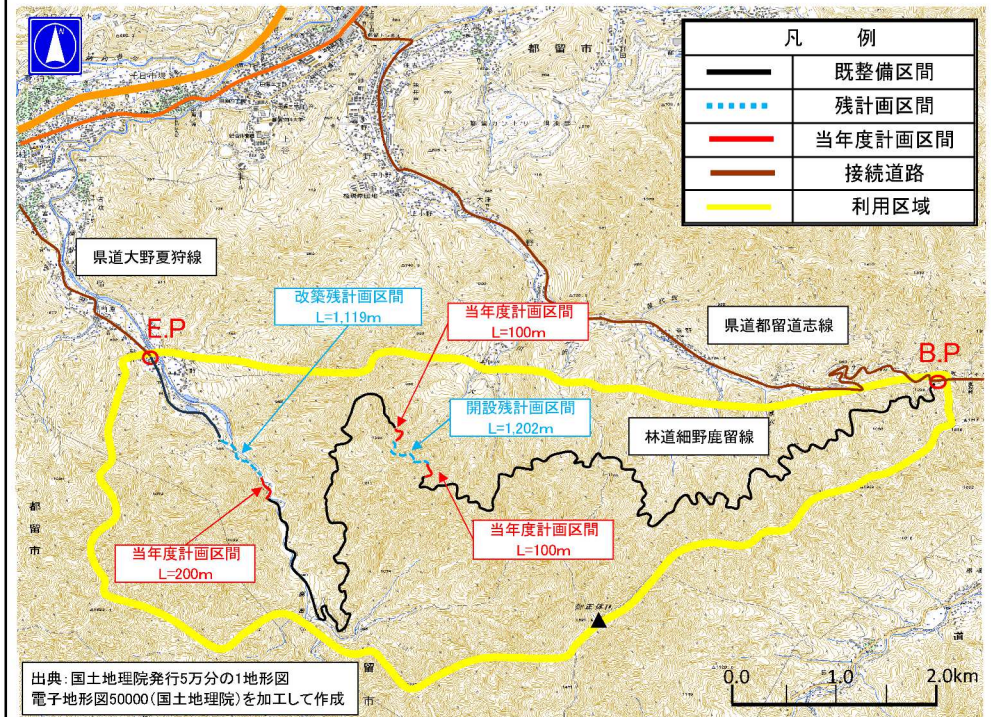
※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

⑤これまでの評価状況（令和2年度再評価）

8割以上の進捗が図られていること、本事業の完了により、充実した人工林資源の有効活用が可能となること、また、地元住民の緊急時の避難路としての役割も期待されることから、見直し案により事業を継続することが妥当である。

事業実施にあたっては、時間管理を徹底し、見直し案のとおり令和7年度の完成に努められたい。

(2) 事業位置図等



2.評価シート（1）

（1）事業を巡る社会経済情勢等の変化

（今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）

①地域・住民の意向状況

・近年は森林に対して、木材生産や国土保全、水源かん養はもとより自然とのふれあい、教育の場としての機能も期待されている。本林道についても、本来の目的である林業経営のための施設としての役割には大きな期待を抱いているが、地域間の連絡道路、山村地域の振興、鹿留川や御正体山周辺のレクリエーション活動などの森林空間を活用した地域振興のため、本林道整備は不可欠であると要望されている（都留市長の意見）。

②産業・経済情勢

木質バイオマス発電所や大型合板工場の稼働により、県産木材の需要が増加してきており、これらの施設への安定的な木材供給が求められている。
また、労務単価や資材価格の高騰により事業費の増額を余儀なくされている。

③国等の方針

令和3年度に策定された森林・林業基本計画では、令和12年度の国産材供給目標量を令和元年度比135%にあたる42百万m³とし、目標達成に向け、路網と高性能林業機械を組み合わせた効率的な作業システムの構築等、林業の生産性の向上を推進することとしている。

④上位計画・関連事業計画等

- ・山梨県総合計画（令和5年10月改定）
- ・山梨県東部地域森林計画（令和6年3月改定）
- ・山梨県林内路網整備計画（令和2年3月改定）
- ・第4次県有林管理計画（令和3年3月改定）
- ・やまなし森林整備・林業成長産業化推進プラン（令和6年2月改定）
- ・社会資本整備重点計画（令和4年9月改定）

⑤自然環境条件等

林道沿線の溪流荒廃に対し、治山事業を実施している。

⑥その他

なし

（2）評価時点の費用対効果分析

項 目	着手時点	再評価時点	変更計画時点
総事業費	6,685 百万円	6,350 百万円	7,185 百万円
工 期	H8～H30	H8～R7	H8～R11
評価基準年	H8	(H22,H27),R2	R7
費用	- 百万円	7,377 百万円	11,527 百万円
建設費	- 百万円	7,194 百万円	11,336 百万円
維持管理費	- 百万円	183 百万円	191 百万円
その他	- 百万円	- 百万円	百万円
便益	- 百万円	8,520 百万円	12,496 百万円
木材生産等便益	- 百万円	1,201 百万円	1,204 百万円
森林整備経費縮減等便益	- 百万円	3,240 百万円	6,956 百万円
災害等軽減便益	- 百万円	3,021 百万円	3,031 百万円
その他※	- 百万円	1,058 百万円	1,305 百万円
B/C	未算出	1.15	1.08

事業評価マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上

※その他は、一般交通便益、維持管理費縮減便益、森林の総合利用便益

※森林整備経費縮減等便益のうち治山経費縮減便益は、林道整備により治山工事が効率的に実施可能となったことを評価した便益

（3）これまでの計画変更等の概要

（平成22年度再評価）

地形・地質に合わせた工法の採用、景観形成や自然環境への配慮など委員会での意見を踏まえ、今後もコスト縮減と進捗率維持のための時間管理を徹底する。

総事業費 495百万円の減、工期 変更なし

（平成27年度再評価）

工区数減少により、進捗向上が見込めないため、工期を4年延長する。

総事業費 変更なし、工期 4年延長

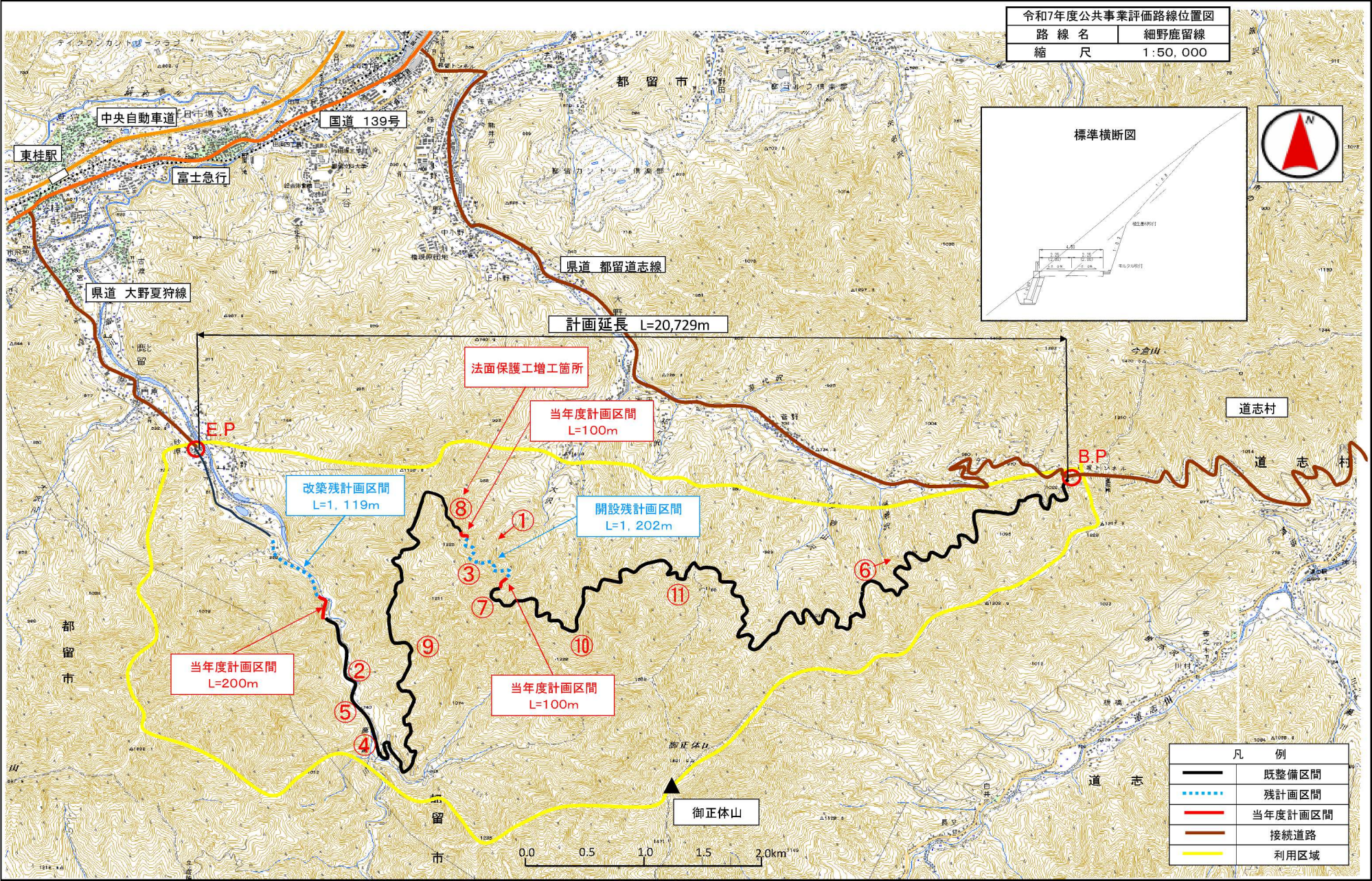
（令和2年度再評価）

急峻な地形や脆弱な地質の影響で、法面保護工等を追加したため、事業費を増額し、工期を3年延長する。

総事業費 160百万円の増、工期 3年延長

評価シート（２）																																																																																			
（４）事業進捗状況及び見込み										（５）環境負荷等への配慮																																																																									
①進捗率 別表のとおり。 R7年度進捗率（現計画）100%→（実績）100%→（変更計画）89% ②進捗率実績が計画と相違している理由 急峻な地形や脆弱な地質の影響で想定以上の法面対策が必要となっていることにより、単年度あたりの開設延長が延びず、全体工程に遅れが生じた。 ③総事業費の変更内容 <table border="1"> <thead> <tr> <th>変更工種等</th> <th>事業費増減</th> <th>変更理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>法面保護工 計画延長</td> <td>835百万円 増</td> <td>・地質条件に応じた法面保護工の増 ・詳細設計の結果による計画延長の増</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>835百万円 増</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※事業費増額には資材、労務単価上昇による額を含む ④事業期間の変更理由及び進捗予定 法面保護工の増額等の開設コスト増の影響で進捗に遅れが生じている。計画延長が増加したことを踏まえると、本年度を含め完成までに5年を要することから、計画期間を4年延長し、令和11年度の完成を目指す。 ⑤今後の事業執行における留意点 急峻な地形、脆弱な地質といった厳しい条件下での作業となることから、施工時の安全管理により留意する必要がある。										変更工種等	事業費増減	変更理由	法面保護工 計画延長	835百万円 増	・地質条件に応じた法面保護工の増 ・詳細設計の結果による計画延長の増	合 計	835百万円 増		地形の変更を極力少なくする路線計画とする。また、切土・盛土法面については、緑化が見込める箇所は在来種を配合した法面保護工を確実に実施するなど、環境への配慮を心がける。 （６）コスト削減の可能性 現地状況を踏まえて、法面保護工、舗装工の簡素化を検討する。 （７）代替案立案の可能性 なし （８）所管部の今後の方針 継続・見直し継続・その他（ ） （理由） 本路線は、都留市南東部の県有林の経営・管理に不可欠な森林基幹道であり、本路線の完成とその後の森林作業道等の整備により、充実した人工林資源の有効活用が可能となる。また、地元住民の緊急時の避難路としての役割も期待されることから、計画内容を見直した上で事業継続とする。																																																																
変更工種等	事業費増減	変更理由																																																																																	
法面保護工 計画延長	835百万円 増	・地質条件に応じた法面保護工の増 ・詳細設計の結果による計画延長の増																																																																																	
合 計	835百万円 増																																																																																		
○別表-進捗率（事業費ベース） 算出方法：【上段】現計画の計画事業費／総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費／総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費／総事業費×100 単位：％ <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>年度</th> <th>*H8</th> <th>～</th> <th>*H22</th> <th>～</th> <th>*H27</th> <th>～</th> <th>*R2</th> <th>～</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>*R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> <th>R11</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">現</td> <td>計画</td> <td>1</td> <td>～</td> <td>37</td> <td>～</td> <td>63</td> <td>～</td> <td>86</td> <td>～</td> <td>96</td> <td>99</td> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1</td> <td>～</td> <td>37</td> <td>～</td> <td>63</td> <td>～</td> <td>86</td> <td>～</td> <td>96</td> <td>99</td> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="12">変更計画</td> <td>89</td> <td>92</td> <td>94</td> <td>97</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> *事業着手年度又は評価年度 *R7年度の実績は見込み																		年度	*H8	～	*H22	～	*H27	～	*R2	～	R5	R6	*R7	R8	R9	R10	R11	現	計画	1	～	37	～	63	～	86	～	96	99	100					実績	1	～	37	～	63	～	86	～	96	99	100					変更計画												89	92	94	97	100
	年度	*H8	～	*H22	～	*H27	～	*R2	～	R5	R6	*R7	R8	R9	R10	R11																																																																			
現	計画	1	～	37	～	63	～	86	～	96	99	100																																																																							
	実績	1	～	37	～	63	～	86	～	96	99	100																																																																							
変更計画												89	92	94	97	100																																																																			

3. 添付資料シート(1)



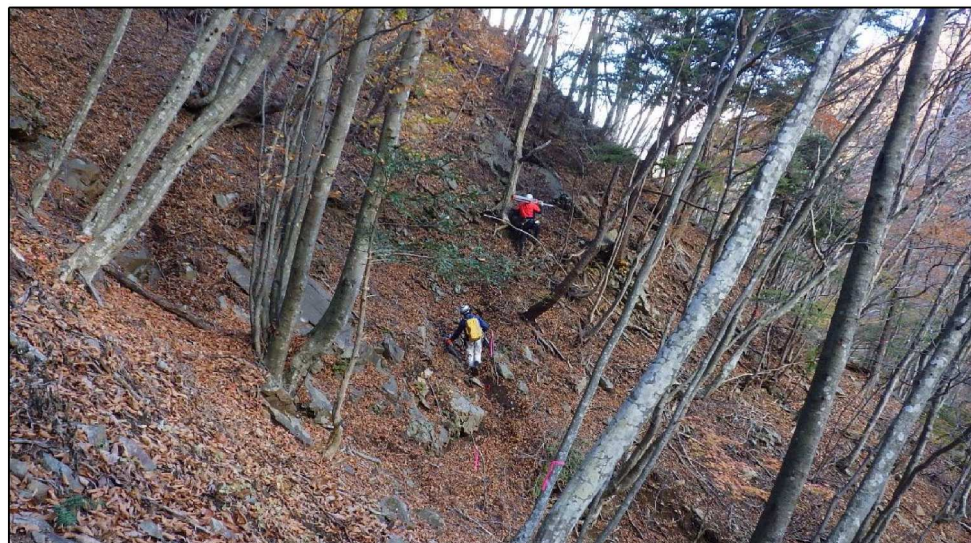
3.添付資料シート(2)



① 計画地遠景



② 林道の整備済み区間の状況



③ 開設計画箇所 地形状況



④ 林道沿線における集材状況

3.添付資料シート（3）



⑤ 林道を利用した木材の搬出状況



⑥ 利用区域内の収穫状況（起点側）



⑦ 切土法面岩盤の強風化状況



⑧ 法面保護工の実施状況

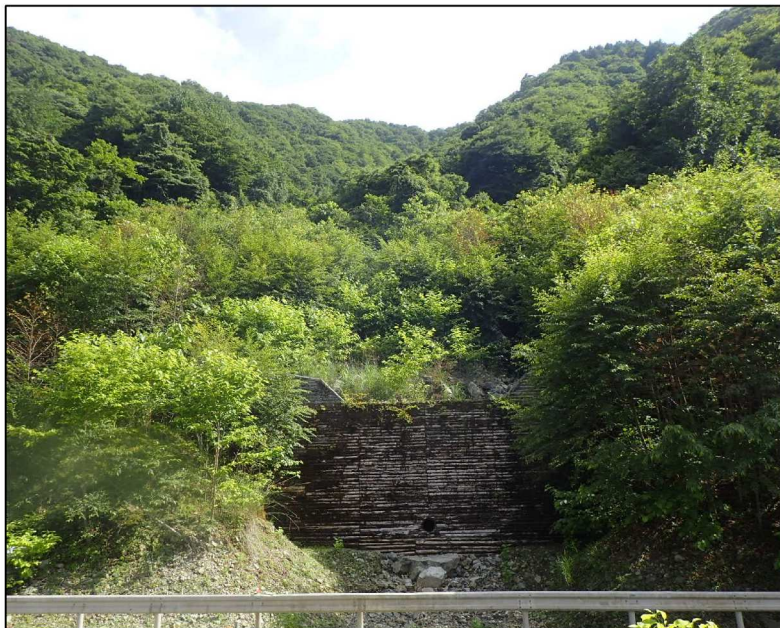
3.添付資料シート（4）



⑨ 治山施設



⑩ 治山施設

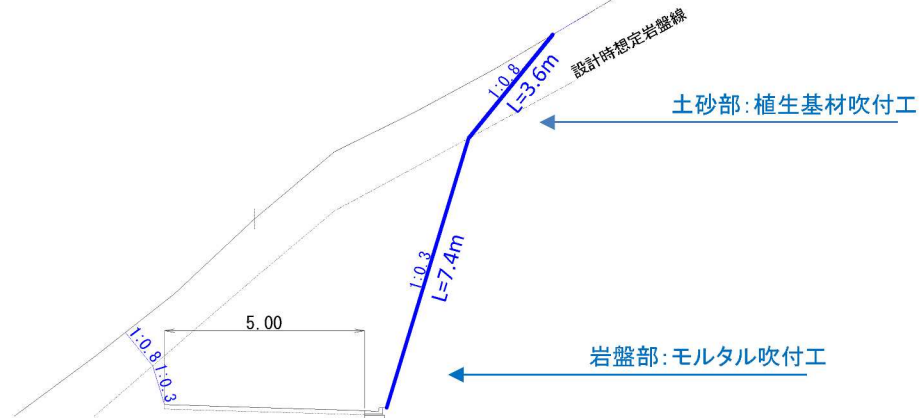


⑪ 治山施設

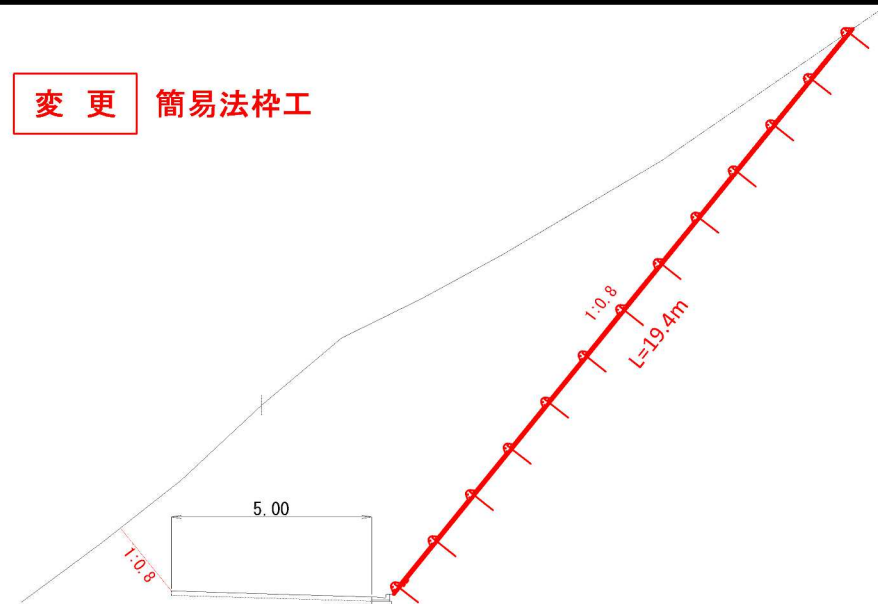
3.添付資料シート (5)

事業費増の理由 法面保護工の変更

当初 モルタル吹付工+植生基材吹付工



変更 簡易法枠工



【変更】

・法面について、表層崩壊が発生しやすい脆弱な地質であったため、切土法勾配を8分に変更し、更に簡易法枠工を追加。法長:1.8倍、単価:1.5倍



法面崩落の状況

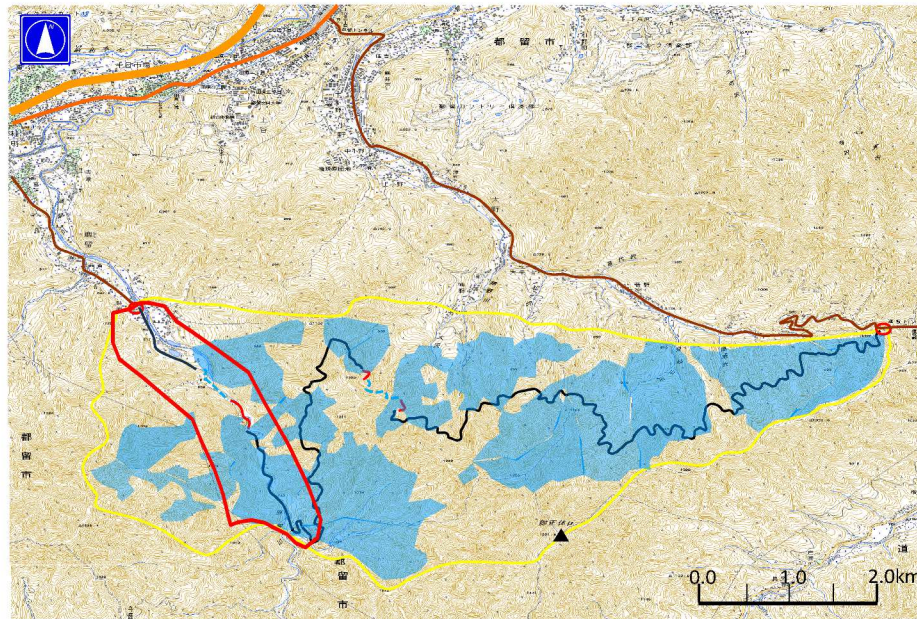


簡易法枠工の完成状況

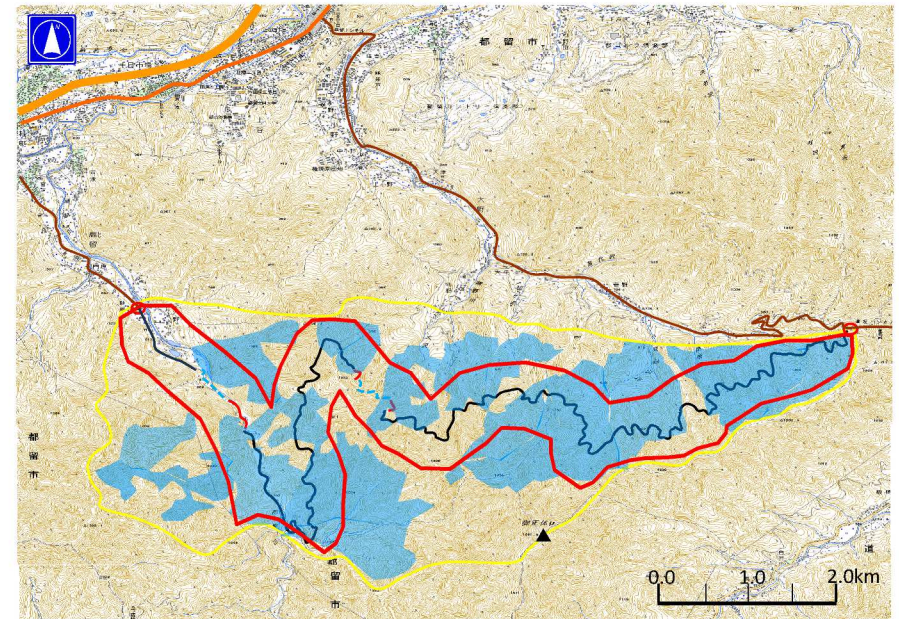
3.添付資料シート(6)

徒歩30分以内に到達できる範囲内の人工林率

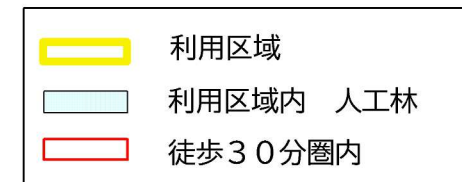
事業実施前:15.3%



事業実施後:70.6%



※赤枠内の林道は既設部分であり、事業期間内に改築を実施



徒歩30分以内に到達できる範囲内の人工林率:基準値70%

4. 年度別事業費内訳表(変更計画の内容)

年度	見直し後事業費(千円)			事業概要	進捗率 (%)
	全体	開設	改築	開設延長	
H8	35,000	35,000		全体計画調査設計	0%
H9	135,000	135,000		林道開設工 L=560m	2%
H10	127,000	127,000		林道開設工 L=343m	4%
H11	233,000	233,000		林道開設工 L=603m	7%
H12	130,000	130,000		林道開設工 L=310m	9%
H13	177,000	177,000		林道開設工 L=455m	12%
H14	110,000	110,000		林道開設工 L=342m	13%
H15	117,000	117,000		林道開設工 L=313m	15%
H16	117,000	117,000		林道開設工 L=408m	16%
H17	147,800	147,800		林道開設工 L=707m	18%
H18	131,000	131,000		林道開設工 L=528m	20%
H19	140,000	140,000		林道開設工 L=449m	22%
H20	210,000	210,000		林道開設工 L=428m	25%
H21	280,000	280,000		林道開設工 L=915m	29%
H22	270,000	270,000		林道開設工 L=951m	33%
H23	264,340	264,340		林道開設工 L=802m	37%
H24	310,000	310,000		林道開設工 L=925m	41%
H24補正	139,630	139,630		林道開設工 L=522m	43%
H25	410,000	346,000	64,000	林道開設工 L=847m 林道改築工 L=579m	48%
H26	320,000	320,000		林道開設工 L=768m	53%
H27	225,000	174,700	50,300	林道開設工 L=471m 林道改築工 L=345m	56%
H28	326,230	272,930	53,300	林道開設工 L=605m 林道改築工 L=54m	61%
H29	302,618	267,365	35,253	林道開設工 L=445m 林道改築工 L=181m	65%
H30	359,242	314,105	45,137	林道開設工 L=780m 林道改築工 L=91m	70%
R1	253,918	214,918	39,000	林道開設工 L=510m 林道改築工 L=20m	73%
R2	159,277	159,277		林道開設工 L=331m	76%
R3	203,273	167,687	35,586	林道開設工 L=319m 林道改築工 L=190m	78%
R4	174,903	132,510	42,393	林道開設工 L=353m 林道改築工 L=200m	81%
R5	206,581	165,547	41,034	林道開設工 L=224m 林道改築工 L=165m	84%
R6	166,540	166,540		林道開設工 L=213m	86%
R7	202,191	162,191	40,000	林道開設工 L=200m 林道改築工 L=200m	89%
R8	200,353	160,353	40,000	林道開設工 L=302m 林道改築工 L=470m	92%
R9	200,353	160,353	40,000	林道開設工 L=300m 林道改築工 L=470m	94%
R10	200,353	160,353	40,000	林道開設工 L=300m 林道改築工 L=470m	97%
R11	200,353	160,353	40,000	林道開設工 L=300m 林道改築工 L=465m	100%
合計	7,184,955	6,578,952	606,003	開設、改築 L=20,729m	